

平成31年度 環境部 業務計画

基本理念3	安全でやすらぎのある 持続可能な 暮らしづくり
政策目標8	環境に配慮し次代に引き継ぐ潤いのあるまち

1 平成31年度における部局の経営方針

①低炭素・資源循環・自然共生社会の形成に向け、部局内の連携のみならず、部局間の連携を密にするとともに、これまで以上に市民・事業者と連携しながら、市域全体で様々な分野の環境政策を展開します。

②各政策の展開にあたっては、民間委託や協働などの手法を積極的に活用し、業務の効率化や事業主体の最適化を進めるとともに、適切な受益者負担のあり方について検討を進めます。また、時代の変化に幅広く対応すべく、国や県の動向、他自治体の先進事例等の情報収集を行い、積極的な活用を検討します。

③大規模災害に伴って発生する廃棄物を迅速かつ適切に処理できるように、大規模災害発生時の業務対応について、部内会議等を通じて議論し、職員一人一人の危機管理意識向上を図ります。

④職員一人一人が持っている能力を最大限発揮できるような職場環境を目指し、各所属ごとに働き方の見直しに計画的に取り組みます。また、部内会議等で進捗状況の確認や課題共有を図ります。

2 平成31年度業務の目指すべき方向性と重点事項

ごみ排出量の抑制に向けた取組として、事業者に対する減量化推進に向けた啓発・指導、市民や小中学校を対象とした出前講座において、分かりやすい資源物の分別の啓発を行います。

リサイクル率の向上への取り組みとして、剪定枝の資源化について検討を進めるとともに、対象品目を拡大した使用済み小型家電の周知を行います。

市域のCO₂排出量の削減に向け、温暖化防止の必要性を周知するとともに、家庭や事業所において実践できる取組の情報を提供し、市民や事業者と市が連携しながら取組を進めます。

湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画及び第3次神奈川県湘南東地域循環型社会形成推進地域計画に位置づけた、粗大ごみ処理施設整備事業について、旧焼却施設上屋解体を行います。また、昨年度実施した土壌汚染調査結果を受けた詳細調査を実施するとともに、旧焼却施設基礎解体設計に向けた検討を行います。また、新施設稼働まで燃やせないごみ、大型ごみ及び寒川町の不燃ごみ等が適正かつ安全に処理できるよう既設粗大ごみ処理施設の必要なメンテナンスを実施します。

更なるごみ減量の推進及び焼却残渣の再資源化やごみ処理施設整備等にかかる経費の財源確保のため、家庭ごみ処理有料化や今後の収集体制についても併せて分析、検討し、意見交換会等で寄せられた市民意見や実施時の必要経費を踏まえ、年度内に方針を決定します。

「茅ヶ崎市環境基本計画」及び「茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画」に位置づけた施策を着実に実施していくとともに、平成33年度を始期とする次期計画の骨子を検討してまいります。また、効率的な進行管理を目的とし、「茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画」のうち「区域施策編」を次期計画への統合に向けた検討を進めます。

快適で安全な生活環境を守るため、事業所への立入検査・指導を行い、公害の未然防止に努めるとともに、大気汚染・水質汚濁・騒音・振動の環境監視活動を進めます。